



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社
 コード番号 6943 URL <https://www.nkkswitches.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 大橋 智成
 (氏名) 海老沼 博行
 TEL 044-813-8026
 配当支払開始予定日 2022年12月12日

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,176	17.2	585	5.4	701	9.2	644	31.4
2022年3月期第2四半期	4,414	30.5	619		642		490	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,194百万円 (132.7%) 2022年3月期第2四半期 513百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	783.72	
2022年3月期第2四半期	596.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	15,145	12,355	81.6	15,013.13
2022年3月期	14,074	11,223	79.7	13,637.48

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 12,354百万円 2022年3月期 11,222百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		75.00		75.00	150.00
2023年3月期		75.00			
2023年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想の修正につきましては、本日(2022年11月4日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	11.9	700	12.5	800	8.9	700	20.5	850.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2022年11月4日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	842,520 株	2022年3月期	842,520 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	19,592 株	2022年3月期	19,592 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	822,928 株	2022年3月期2Q	822,948 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界の経済環境は、ウィズコロナを前提とした経済活動の正常化が進行し、回復基調を維持しているものの、世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、高水準で推移する原油価格や原材料価格、さらにロシア・ウクライナ情勢の長期化などの地政学的リスクによる世界経済への影響など、予断を許さない状況が続いております。日本経済におきましては、新型コロナウイルス感染症への感染対策を講じながら、社会経済活動を再開する動きが見られたものの、急激な為替相場の円安進行、原材料価格の高騰などによる景気への影響などから、先行き不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、2030年のありたい姿として制定した新グループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、2022年度から3ヵ年の新中期経営計画をスタートいたしました。新中期経営計画では、新たな行動理念として「信頼し、信頼される良い会社」を制定するとともに、特に「信頼」と「納期」を重点テーマとし、グループの総力を結集してこれらに関する戦略を積極的に展開してまいりました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,176百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は585百万円（前年同期比5.4%減）、経常利益は701百万円（前年同期比9.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は644百万円（前年同期比31.4%増）となりました。

なお、セグメントの概況は次のとおりであります。

第1四半期会計期間にドイツに新たに設立したNKK Switches Europe GmbHについて、当第2四半期連結会計期間から事業を開始したことから、当第2四半期累計期間から報告セグメント「米国」を「欧米」と変更し、NKK Switches Europe GmbHを「欧米」に含めております。

また、以下の前年同四半期との比較については、変更後の報告セグメントに基づいております。

① 日本

新型コロナウイルス感染症対策としての行動制限の緩和等により、経済活動の正常化が進みつつあり、景気は緩やかに持ち直しているものの、急激な円安の進行や、世界的な原材料価格等の高騰、物流費の高止まりなど、先行き不透明な状況が続いております。こうした中、当社グループの販売強化項目である「特定市場」や「ソリューションビジネスの確立」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は前年同期比1.7%増、グループ間の取引を含んだ売上高は4,399百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

② 欧米

インフレ抑制のための金融引き締めを加速させていることで、景気減速の傾向が見られるものの、設備投資は底堅く、個人消費は堅調に推移するなど回復基調が続いております。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つであるカタログディストリビューターを中心とする「ネットセールス」や「特定市場」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比24.5%増、為替の影響も含め2,226百万円（前年同期比51.9%増）となりました。

③ アジア

新型コロナウイルス感染症抑制のためのゼロコロナ政策により社会経済活動が滞り、中国経済が減速するなど先行き不透明な状況が続いております。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つである「特定市場」に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染再拡大により生産活動が制限される場合に備え、在庫水準の増強に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりましたが、第1四半期において上海のロックダウンにより販売活動が制限されるなどの影響を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比22.1%減、グループ間の取引を含んだ売上高は為替の影響も含め3,219百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は15,145百万円（前連結会計年度末比1,071百万円の増加）となりました。

主な要因は、現金及び預金（同365百万円の増加）、商品及び製品（同347百万円の増加）、原材料及び貯蔵品（同125百万円の増加）、投資その他の資産（同191百万円の増加）によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,789百万円（前連結会計年度末比60百万円の減少）となりました。

主な要因は、未払法人税等（同78百万円の増加）、その他流動負債（同55百万円の減少）、その他固定負債（同72百万円の減少）によるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は12,355百万円（前連結会計年度末比1,132百万円の増加）となりました。

主な要因は、利益剰余金（同583百万円の増加）、為替換算調整勘定（同538百万円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年8月5日に公表しました通期業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,416,009	5,781,500
受取手形及び売掛金	1,691,448	1,693,127
商品及び製品	1,058,879	1,406,455
仕掛品	74,753	98,189
原材料及び貯蔵品	1,933,738	2,058,967
その他	369,308	304,499
貸倒引当金	△3,747	△3,257
流動資産合計	10,540,390	11,339,483
固定資産		
有形固定資産	2,047,062	2,132,582
無形固定資産	57,217	52,165
投資その他の資産	1,429,391	1,621,301
固定資産合計	3,533,671	3,806,048
資産合計	14,074,061	15,145,531
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,504,880	1,470,752
未払法人税等	36,838	115,810
引当金	122,936	120,594
その他	702,792	647,099
流動負債合計	2,367,448	2,354,258
固定負債		
退職給付に係る負債	81,030	95,844
役員退職慰労引当金	181,020	190,660
その他	221,304	149,090
固定負債合計	483,354	435,594
負債合計	2,850,802	2,789,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,798,625	9,381,849
自己株式	△161,955	△161,955
株主資本合計	10,421,775	11,004,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,146	383,532
為替換算調整勘定	427,743	966,190
その他の包括利益累計額合計	800,889	1,349,723
非支配株主持分	594	956
純資産合計	11,223,259	12,355,678
負債純資産合計	14,074,061	15,145,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,414,629	5,176,083
売上原価	2,391,505	3,051,300
売上総利益	2,023,123	2,124,782
販売費及び一般管理費	1,403,845	1,538,963
営業利益	619,278	585,818
営業外収益		
受取配当金	14,499	16,770
受取賃貸料	15,852	15,977
為替差益	—	74,825
持分法による投資利益	3,580	7,408
その他	5,677	12,455
営業外収益合計	39,609	127,437
営業外費用		
支払利息	1,996	2,179
賃貸収入原価	8,216	8,828
為替差損	6,241	—
その他	—	756
営業外費用合計	16,453	11,765
経常利益	642,433	701,490
特別利益		
固定資産売却益	—	56,585
特別利益合計	—	56,585
特別損失		
固定資産除却損	574	3,315
事業構造改善引当金繰入額	171,922	—
特別損失合計	172,496	3,315
税金等調整前四半期純利益	469,936	754,760
法人税、住民税及び事業税	100,039	184,532
法人税等調整額	△120,933	△75,077
法人税等合計	△20,893	109,455
四半期純利益	490,830	645,305
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△137	362
親会社株主に帰属する四半期純利益	490,967	644,943

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	490,830	645,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,247	10,385
為替換算調整勘定	30,592	538,447
その他の包括利益合計	22,344	548,833
四半期包括利益	513,175	1,194,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	513,312	1,193,777
非支配株主に係る四半期包括利益	△137	362

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、ドイツに新たに設立したNKK Switches Europe GmbHを連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した株式会社東北精器を持分法適用の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。